

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第1学年 重複B類型	日常生活の指導			
目標	<p>(知) 日常生活における基本的習慣を身に付けるため、身近自立に必要な知識・技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 日常生活における課題に対して解決したり、自分が考えたことを表現したりしようとする。</p> <p>(学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組み、望ましい生活習慣の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	<p>「登校時」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・係活動、周囲の人との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け、歯磨き など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・持ち物の整理、制服をたたむ、更衣室の利用 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、着替え、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など <p>※登校後、給食時、給食前後、下校前の日常生活の時間において、個々の課題によって上記内容の中から取り組みます。</p>	<p>(知) 登下校の挨拶、持ち物の整理、衣類の着脱、片付けをすることができる。食事マナーやトイレマナーを守ることができる。</p> <p>(思) 身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見を相手に伝えることができる。</p> <p>(学) 係活動や集団行動などを心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようすることができる。</p>	学級 個別	169
1 学期授業時数				169
2 学期	<p>「登校時」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・係活動、周囲の人との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け、歯磨き など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・持ち物の整理、制服をたたむ、更衣室の利用 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、着替え、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など <p>※登校後、給食時、給食前後、下校前の日常生活の時間において、個々の課題によって上記内容の中から取り組みます。</p>		学級 個別	195
2 学期授業時数				195
3 学期	<p>「登校時」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・係活動、周囲の人との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け、歯磨き など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・持ち物の整理、制服をたたむ、更衣室の利用 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、着替え、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など <p>※登校後、給食時、給食前後、下校前の日常生活の時間において、個々の課題によって上記内容の中から取り組みます。</p>		学級 個別	91
3 学期授業時数				91
総授業時数				455

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第1学年 重複B類型	生活単元学習	①社会「知育えほんマークのずかん」(福成社) ②地図「空から日本地図えほん」(株式会社世界文化社) ③理科「講談社の動く図鑑move はじめてのずかん しよくぶつ」(講談社) ④環境「読者の心をくわすのむすびやつづら」(金のめいりきほん。(合同出版)) ⑤家庭「ひとりてできるもん4 うれしいごはん、パン、めん料理」(金の星社) ⑥道徳「読むわかることばのせいかつずかん4 おつきあひのきほん」(合同出版) ⑦外国語「えいごでわかるしよ! 1年がのめあつたえほん」(ヤマハミュージックエンタテイメントホールディングス)			
目標	(知) 身近な社会との関わりに気付くとともに、社会生活に必要な基礎的な態度を育てる。 (思) 日常生活の事柄に関心をもつとともに、感じたことや考えたことを表現しようとする。 (学) 明るく豊かな家庭生活の大切さに気付くとともに、現在や将来の生活に生かす実践的な態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「新入生歓迎会に参加しよう」 ・新入生歓迎会への参加	⑥	(知) 入学した仲間を知るとともに、自分の役割を果たそうとすることができる。 (思) 学部の仲間との関わりについて関心を持ち、感じたことを表現しようとする。 (学) 高等部という集団に気付き、自ら働き掛けようとする。	重複全体	2
	「季節を感じよう(1)」 ・作品づくり ・お楽しみ会 ・ゲームやダンス、歌 ・校外学習 ・絵本の読みかせ	①②③④ ⑥⑦	(知) 身の回りにある生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に必要なまじりに活動や体験を通して触れることができる。 (思) 身の回りにある生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に必要なまじりに関心をもつようになり、活動や体験を通して感じたことを表現したりすることができる。 (学) 身近な集団に関わりあう意欲をもち、仲間と協力して活動したり自分の役割を果たそうとしたりしようとする。	重複学年 類型 学級	12
	「野菜の栽培をしよう(1)」 ・種まき、苗の植え付け、水やり、収穫	③	(知) 育てる野菜について知るとともに、自分の役割を果たそうとすることができる。 (思) 栽培活動を通して、身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学) 育てる植物を大切に育てようとする。	重複学年 学級	6
	「調理実習をしよう(1)」 ・調理実習	⑤	(知) 家庭に自分の役割に気付き、食に係る技能を身に付けることができる。 (思) 調理実習に必要な事柄に触れ、日常生活において課題を解決する力の基礎を養うことができる。 (学) よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。	類型 学級	4
	「1学期を振り返ろう」 ・1学期の振り返り	④	(知) 1学期の出来事を思い出し、振り返ることができる。夏休みについて関心をもつことができる。 (思) 1学期の頑張ったことや楽しかったことについて、感じたことを伝えようとする。 (学) 1学期の振り返りを通して、2学期への意欲をもつことができる。	学級	2
1学期授業時数					26
2 学期	「食について考えよう」 ・季節の食べ物、栄養素	⑤	(知) 身の回りの旬の食材や食べ物に含まれている栄養素などを知ることができる。 (思) 家庭での食事や給食の献立から栄養バランスを考え、発表することができる。 (学) 栄養バランスについて意識した生活を送ろうと意識することができる。	学級	2
	「調理実習をしよう(2)」 ・軽食の調理実習	⑤	(知) 家庭に自分の役割に気付き、食に係る技能を身に付けることができる。 (思) 調理実習に必要な事柄に触れ、日常生活において課題を解決する力の基礎を養うことができる。 (学) よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。	類型 学級	4
	「野菜、花の栽培をしよう(2)」 ・種まき、苗の植え付け、水やり、収穫	③	(知) 育てる野菜について知るとともに、自分の役割を果たそうとすることができる。 (思) 栽培活動を通して、身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学) 育てる植物を大切に育てようとする。	重複学年 学級	6
	「季節を感じよう(2)」 ・作品づくり ・お楽しみ会 ・ゲームやダンス、歌 ・校外学習 ・絵本の読みかせ	①②③④ ⑥⑦	(知) 身の回りにある生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に必要なまじりに活動や体験を通して触れることができる。 (思) 身の回りにある生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に必要なまじりに関心をもつようになり、活動や体験を通して感じたことを表現したりすることができる。 (学) 身近な集団に関わりあう意欲をもち、仲間と協力して活動したり自分の役割を果たそうとしたりしようとする。	重複学年 類型 学級	12
	「買物学習をしよう」 ・売り手と買い手に扮しての買物学習	⑥	(知) 店舗の扱い方に関心をもつことができる。 (思) 教師と一緒に金銭を扱うことができる。 (学) 売り手や買い手という役割に、意欲的に取り組もうとする。	重複学年 学級	4
「2学期を振り返ろう」 ・2学期の振り返り	④	(知) 2学期の出来事を思い出し、振り返ることができる。夏休みについて関心をもつことができる。 (思) 2学期の頑張ったことや楽しかったことについて、感じたことを伝えようとする。 (学) 2学期の振り返りを通して、3学期への意欲をもつことができる。	学級	2	
2学期授業時数					30
3 学期	「季節を感じよう(3)」 ・作品づくり ・お楽しみ会 ・ゲームやダンス、歌 ・校外学習 ・絵本の読みかせ	①②③④ ⑥⑦	(知) 身の回りにある生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に必要なまじりに活動や体験を通して触れることができる。 (思) 身の回りにある生命や自然、日常生活や身近な社会事象、集団生活に必要なまじりに関心をもつようになり、活動や体験を通して感じたことを表現したりすることができる。 (学) 身近な集団に関わりあう意欲をもち、仲間と協力して活動したり自分の役割を果たそうとしたりしようとする。	重複学年 類型 学級	8
	「3年生のお別れ会をしよう」 ・お別れ会の準備 ・お別れ会への参加	⑥	(知) 行事について知り、準備や活動に対して見通しをもつことができる。 (思) 活動や自分の役割を理解し、誇りの準備や発表の内容を考えることができる。 (学) 仲間や先輩後輩に働きかけ、行事を成功させようとして活動することができる。	重複全体 学級	4
	「1年間を振り返ろう」 ・1年間のまとめ	④	(知) 写真等を通して、1年間の行事を振り返ることができる。 (思) 自分が好きな行事や写真を選び、表現することができる。 (学) 1年間を振り返り、4月からは新しい学年が始まることを意識することができる。	学級	2
3学期授業時数					14
総授業時数					70

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第1学年 重複B類型	作業学習 紙工			
目標	<p>(知) 働くために必要な習慣(挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を理解し、活用することができる。</p> <p>(思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱ったりすることができる。</p> <p>(学) 他者との関わりの中で働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「作業オリエンテーション」 ・作業グループについて知る。	(知) 紙工の作業学習でどのような作業をするか、体験を通して知ることができる。 (思) 自分が習得するべき技術について知り、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。	グループ 学級	2
	「製品づくり」 ・紙工の工程を確認して作業をする。 ・牛乳パックからラミネートをはがす。 ・ラミネートをはがした紙を細かくちぎる。 ・紙をミキサーでかくはんする。 ・均一の厚さや形になるように紙をすく。 ・ローラーなどで水分を取る。 ・封筒、ばち袋、季節の置物などを基本に製品づくりをする。 ・社会人講師による指導	(知) 作業で使用する道具の名称や使い方を知ることができる。 (思) 道具を正確に使用するためのポイントを意識して丁寧に取り組むことができる。 (学) 技術の習得に向けて、繰り返し取り組もうとする気持ちを養う。		49
	「1学期のまとめ」 ・1学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について知ることができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできたようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
1学期授業時数				52
2 学 期	「製品づくり」 ・紙工の工程や製品づくりの確認をする。 ・紙すき、製品づくりに班分けし、製品づくりを行う。 ・文化祭やイベントに出品するための製品づくりをする。 ・社会人講師による指導	(知) 製品づくりの工程の中で自分が担当する作業を理解することができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	49
	「文化祭に向けての取組」 ・文化祭に向けての製品づくりをする。 ・看板作り、店出し練習などをする。	(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知ることができる。 (思) 同じ活動を繰り返すことで、見直しをもって活動できるようになる。 (学) 仲間と協力したりお客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。		10
	「2学期のまとめ」 ・2学期の活動のまとめ・振り返り	(知) 自分の成果と課題について知ることができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできたようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
2学期授業時数				60
3 学 期	「製品づくり」 ・イベントに出品するための製品づくりをする。 ・封筒、ばち袋、季節の置物などを基本に製品づくりをする。	(知) 製品づくりの工程の中で自分が担当する作業を丁寧にを行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	17
	「校内実習」	(知) 職場実習や進路学習、作業学習等で体験・学習したことを校内実習に生かす。 (思) 将来の生活に向けて、自分の適性や課題(考える力、協力、持続力、体力、基本的な生活習慣)について考える機会とする。 (学) 実習を通して働くことや、普段の生活との違いを知ろうとする態度を養う。		10
	「1年間のまとめ」 ・1年間の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 1年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
3学期授業時数				28
総授業時数				140

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第1学年 重複B類型	作業学習 染め			
目標	<p>(知) 働くために必要な習慣(挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を知り、活用することができる。</p> <p>(思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱ったりすることができる。</p> <p>(学) 働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「作業オリエンテーション」 ・のり染めについて知る。 ・染めの工程(のり置き、色描き、のり落とし)について知る。	(知) 染めの作業学習でどのような作業をするか、体験を通して知ることができる。 (思) 自分が習得するべき技術について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。	グループ 学級	2
	「製品づくり」 ・自分の担当の作業をする。 (のり染め、はさみ、貼り付け、裁縫など) 「布づくり」 (のり置き、色描き、のり落とし) ・社会人講師による指導	(知) 作業で使用する道具の名称を知り、丁寧に、正確に扱うことができる。 (思) 道具を正確に使用するためのポイントを意識しながら取り組むことができる。 (学) 技術の習得に向けて、繰り返し取り組もうとする気持ちを養う。		49
	「1学期のまとめ」 ・1学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について知ることができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
1 学期授業時数				52
2 学 期	「製品づくり」 ・自分の担当の作業をする。 (のり染め、はさみ、貼り付け、裁縫など) ・文化祭やイベントに出品するための製品づくりをする。 ・社会人講師による指導	(知) 製品づくりの工程の中で自分が担当する作業を丁寧にすることができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	49
	「文化祭に向けての取組」 ・文化祭に向けての製品づくりをする。 ・看板作り、店出しの練習などをする。	(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知り、最後まで取り組むことができる。 (思) 繰り返して同じ活動をすることで、見通しをもって自ら活動できるようになる。 (学) 仲間と協力したりお客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。		10
	「2学期のまとめ」 ・2学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について知ることができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
2 学期授業時数				60
3 学 期	「製品づくり」 ・自分の担当の作業をする。 (のり染め、はさみ、貼り付け、裁縫など) ・イベントに出品するための製品づくりをする。	(知) 製品づくりの工程の中で自分が担当する作業を丁寧にすることができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら作業をしようすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	17
	「校内実習」	(知) 職場実習や進路学習、作業学習等で体験・学習したことを校内実習に生かす。 (思) 将来の生活に向けて、自分の適性や課題(考える力、協力、持続力、体力、基本的な生活習慣)について考える機会とする。 (学) 実習を通して働くことや、普段の生活との違いを知ろうとする態度を養う。		10
	「1年間の振り返り」 ・1年間の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について知ることができる。 (思) 1年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
3 学期授業時数				28
総授業時数				140

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第1学年 重複B類型	作業学習 農業			
目標	<p>(知) 働くために必要な習慣（挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け）を理解し、活用することができる。</p> <p>(思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱ったりすることができる。</p> <p>(学) 働くことへの関心を高め、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「作業オリエンテーション」 ・土作り、種まき、水やりなどの園芸の作業内容を知る。 ・使用する道具の名前や使い方を知る。	(知) 農業の作業学習でどのような作業をするか、体験を通して理解することができる。 (思) 自分が習得すべき技術について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に作業を行うグループの仲間と協力して作業をしようとする気持ちを養う。	グループ 学級	2
	「野菜の栽培や収穫」 ・野菜の栽培や収穫をして、袋詰め、販売をする。 ・製品作り（ポップ、キーホルダー）をする。 ・社会人講師から農業の基本的なコーヒー焙煎を学ぶ。	(知) 作業で使用する道具の名称を理解し、丁寧に、正確に扱うことができる。 (思) 繰り返し作業を行うことで準備や作業、片付けに見通しをもって取り組むことができる。 (学) 作業に達成感を得て、主体的に取り組む気持ちを養う。		49
	「1学期のまとめ」 ・1学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
1学期授業時数				52
2 学 期	「野菜の栽培や収穫」 ・野菜の栽培や収穫をして、袋詰め、販売をする。	(知) 収穫から販売までの手順や流れを理解することができる。 (思) 必要に応じて、報告・連絡・相談をして作業をすることができる。 (学) 作業に達成感を得て、主体的に取り組む気持ちを養う。	グループ 学級	29
	「文化祭に向けての取組」 ・文化祭の店出し準備をする。 ・文化祭販売用作物の収穫をする。	(知) 文化祭までの活動や文化祭での役割について知り、最後まで取り組むことができる。 (思) 繰り返して同じ活動をする中で、見通しをもって自ら活動できるようになる。 (学) 仲間と協力したり、お客様への対応を学んだりして、人と関わろうとする気持ちを養う。		10
	「野菜の栽培や収穫、畑づくり」 ・野菜の栽培や収穫をして、袋詰め、販売をする。 ・社会人講師から農業の基本的な栽培管理を学ぶ。	(知) 畑づくりから収穫、販売までの手順や流れを理解し、身に付けることができる。 (思) 必要に応じて、報告・連絡・相談をして作業をすることができる。 (学) 畑づくりから収穫することや販売することで達成感を得て、主体的に取り組む気持ちを養う。		20
	「2学期のまとめ」 ・2学期の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 今までの活動を振り返り、自分がどこまでできるようになったか考えることができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
2学期授業時数				60
3 学 期	「野菜の栽培や収穫」 ・野菜の栽培や収穫をして、袋詰め、販売をする。	(知) 自分が担当する作業を正確に行うことができる。 (思) 報告や相談をしたり、必要な支援を求めたりしながら正確に作業をしようとするすることができる。 (学) 自分の仕事に最後まで責任をもって取り組み、他者から認められることで達成感を味わうことができる。	グループ 学級	17
	「校内実習」	(知) 職場実習や進路学習、作業学習等で体験・学習したことを校内実習に生かす。 (思) 将来の生活に向けて、自分の適性や課題（考える力、協力、持続力、体力、基本的な生活習慣）について考える機会とする。 (学) 実習を通して働くことや、普段の生活との違いを知ろうとする態度を養う。		10
	「1年間の振り返り」 ・1年間の活動のまとめ、振り返り	(知) 自分の成果と課題について理解することができる。 (思) 1年間の活動を振り返り、自分が頑張ってきたことを発表することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後の目標につなげようとする気持ちを養う。		1
3学期授業時数				28
総授業時数				140

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 1学年 重複B類型	国語	①国語「こくご☆☆☆」(東書)			
目標	<p>(知) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(思) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「いろんな文を読む(1)」【読書指導】 ・登場人物の簡単な言葉の中からイメージをもつ。 ・内容を理解する。	①	(知) 昔話などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。 (学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。	学級 個別	4.5
	「体育祭の思い出を書こう」 ・言葉を可視化して(写真を選び説明する)内容の理解を図る。 ・いつ、どこで、だれが、何を、どうした、を明確に書く。		(知) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。 (思) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 (学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。		2
1 学期授業時数					6.5
2 学期	「あいさつや会話をする力を高めよう」 ・日常生活に必要なあいさつや会話文について考え、実践する。 ・相手の話を聞き、答える方法について知る。 ・状況によってどのように言ったらよいか考える。	①	(知) 日常生活で人とのやり取りを通して、人や事物との関わりの中で必要とされる言葉を理解したり、適切に使ったりすることができる。 (思) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語で考えたり、自分の見聞きたことや経験を様々な相手と気持ちなどを共有するために伝え合う力の向上を図る態度を養う。	学級 個別	1
	「いろんな文を読む(2)」【読書指導】 ・図や写真のある文章を読みイメージをもつ。 ・内容を理解する。		(知) 日常でよく使う語句の正しい読み方を知ることができる。 (思) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。 (学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。		3
	「文化祭の思い出を書こう」 ・言葉を可視化して感情や様子を表す言葉の理解を図る。		(知) 社会生活に係る人とのやり取りを通して言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。 (思) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。 (学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。		2
	「文字や言葉を知ろう」 ・平仮名、片仮名、漢字、アルファベット、ローマ字など。 ・かるた作りなど。		(知) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。		1.5
2 学期授業時数					7.5
3 学期	「書初めをしよう」 ・筆を使って書き初めをする。	①	(知) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。	学級 個別	2
	「いろんな文を読む(3)」【読書指導】 ・登場人物の簡単な言葉の中からイメージをもつ。 ・物語や詩の内容を理解する。		(知) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。 (思) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。 (学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。		1.5
3 学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第1学年 重複B類型	数学	①数学「数学☆☆☆☆」（教育出版）			
目標	<p>(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などが分かるとともに、日常の事象を数量や図形などに注目して処理する技能を身に付ける。</p> <p>(思) 数量や図形などに着目し、基礎的・基本的な数量や図形の性質などが分かるとともに、数学的な表現を用いて表すことができる。</p> <p>(学) 数量や図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「個別学習」 *下記の単元に加え、適宜個別学習を行う	①	個別の指導計画に基づく	個別	
1学期	<p>「数と計算の学習をしよう1」 (数えてみよう)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10までの数について、数を唱えたり、個数を数え書き表したり、数の系列を理解したりすること ・数を2ずつや5ずつのまとまりで数えること ・数を10のまとまりで数えること、10のまとまりと端数に分けて数えたり書いたりすること ・具体物を分配したり等分したりすること 	①	<p>(知) ものともとの対応させることによって、ものの個数を比べ、同等・多少が分かる。</p> <p>(知) ものの集まりと対応して、数詞が分かる。</p> <p>(知) ものの集まりや数詞と対応して数字が分かる。</p> <p>(知) 個数を正しく数えたり、書き表したりすることができる。</p> <p>(思) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。</p> <p>(学) 数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p>	学級	6.5
1学期授業時数					6.5
2学期	<p>「数と計算の学習をしよう2」 (数と計算)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10の個数が分かること ・加法の合併や増加についての理解 ・加法を式に表したり、式を読み取ったりすること ・加法の計算 	①	<p>(知) 二つの数を比べて数の大小が分かる。</p> <p>0の意味について分かる。</p> <p>(思) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。</p> <p>(学) 数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p>	学級	4
	<p>「重さ」 (測量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10の個数が分かること ・加法の合併や増加についての理解 ・加法を式に表したり、式を読み取ったりすること ・1位数と1位数の加法の計算 	①	<p>(知) 二つの数を比べて数の大小が分かる。</p> <p>0の意味について分かる。</p> <p>(思) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。</p> <p>(学) 数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p>	学級	3.5
2学期授業時数					7.5
3学期	<p>「図形の学習をしよう」 (図形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えること ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすること ・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すこと ・傾斜を作ると角ができることへの理解 	①	<p>(知) 色や形、大きさに着目して分類することができる。</p> <p>(知) 身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類することができる。</p> <p>(知) 身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や三角、四角という名称を知る。</p> <p>(知) 大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。</p> <p>(思) ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすことができる。</p> <p>(思) 身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。</p> <p>(学) 数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p>	学級	3.5
3学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第1学年 重複B類型	音楽	①音楽「音楽☆☆☆☆」(東京書籍)			
目標	<p>(知) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。</p> <p>(学) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「校歌を知ろう」 ・校歌の範唱を聴き、歌ったり、身体表現をしたりする活動	①	(知) 歌唱の活動を通して、曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。	類型 学級	2
	「季節の歌を歌おう(春・夏)」 ・春、夏を感じることができる曲で歌ったり、身体表現をしたりする活動		(知) 器楽の活動を通して、曲の雰囲気と音楽の構造との関わりや楽器の音色と全体の響きとの関わりについて気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。		3
	「音を楽しもう」 ・自分で楽器を作り、音に合わせて楽器を演奏する。		(知) 音楽づくりの活動を通して、いろいろな音の響きの特徴やリズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。		6
	「鑑賞」 ・音楽を鑑賞する活動 ・曲想を感じ取って、身体で表現する活動 ・世界の音楽の特徴について知り、日本の音楽との違いを感じる活動		(知) 鑑賞の活動を通して、鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴いたり、曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。		2
1学期授業時数					13
2 学 期	「季節の歌を歌おう(秋・冬)」 ・秋、冬を感じることができる曲で歌ったり、身体表現をする活動	①	(思) 身体表現活動の活動を通して、曲の雰囲気と音楽の構造との関わりや曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。	類型 学級	4
	「楽器を楽しもう」 ・いろいろな楽器を使用して演奏する。		(思) 鑑賞の活動を通して、曲や演奏のよさなどを見いだして聴いたり、曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。		4
	「楽器の演奏を楽しもう」 ・伴奏に合わせて楽器を演奏する。		(思) 音楽づくりの活動を通して、音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して、どのように音楽を作るのかについて発想を得ることや、音を音楽へと構成することについて、思いや意図をもつことができる。		4
	「鑑賞」 ・音楽を鑑賞する活動 ・曲想を感じ取って、身体で表現する活動 ・曲の速さの違いを感じ取って、身体で表現する活動		(思) 器楽の活動を通して、器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。		3
2学期授業時数					15
3 学 期	「季節の歌を知ろう(冬・春)」 ・冬、春を感じ取ることができる曲で歌ったり、身体表現をする活動	①	(学) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。	類型 学級	1
	「心を込めて歌おう」 ・卒業証書授与式での歌を歌ったり、身体表現したりする活動				2
	「鑑賞」 ・日本音楽を鑑賞する活動 ・箏曲を聴き、箏を知る活動				3
	「まとめをしよう」 ・1年間を振り返り、歌ったり演奏したりする活動				1
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第1学年 重複B類型	美術	① 美術「小学館の図鑑NEOアート図解 はじめての絵画」(小学館)			
目標	<p>(知) 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。</p> <p>(学) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「学級旗の制作」(様々な道具・技法を用いた学級旗作り) ・デザインやテーマの検討 ・デザイン画や下書きを基にした表現	①	(知) 自分が担当する部分を知り、決められた道具を扱って制作することができる。 (思) デザインを考えたり選択したりして制作することができる。 (学) 自分が担当する部分や友達と一緒に活動している部分を知り、友達と協力しながら作成する態度を養う。	学級	7
	「いろいろな技法」(モダンテクニックを用いた表現) ・ドリップングやパチックなどのモダンテクニックの理解 ・筆やスタンプなどの道具を用いた表現 ・モダンテクニックを用いた表現 ・作品の鑑賞		(知) いろいろな技法で使用する道具の扱い方を知り、学級機を制作することができる。 (思) いろいろな技法を使い、表現することができる。 (学) いろいろな技法を使って制作することを通して、創造活動の喜びを味わう態度を養う。		6
1 学期授業時数					13
2 学 期	「絵画の制作」(モダンテクニックを用いた絵画の制作) ・構図やテーマの検討 ・ドリップングやパチックなどのモダンテクニックを用いた表現 ・様々な道具や材料を用いた制作活動	①	(知) いろいろな技法で使用する道具の扱い方を知り、絵画を制作することができる。 (思) 図案を考えたり、選択したりして技法や道具を選び、表したいことを表現することができる。 (学) いろいろな技法を知り、表現することを通して、創造活動の喜びを感じるができる。	学級	7
	「立体物の制作」～貯金箱作りやお面作り～(紙粘土を用いた立体作品の制作) ・デザインやテーマの検討 ・紙粘土を用いた立体作品の制作活動 ・作品の鑑賞、展示		(知) 粘土の性質や道具の扱い方を理解し、粘土を形成することができる。 (思) 資料を参考にしたり選択したりしてデザイン画を描き、表現することができる。 (学) 貯金箱作りやお面作りを通して創造する喜びを味わう態度を養う。		8
2 学期授業時数					15
3 学 期	「墨で描く」 ・テーマの検討 ・墨や筆を用いた表現の理解、体験 ・墨や筆を用いた表現 ・作品の鑑賞、展示 ・様々な道具や材料(色紙、巻物等)を用いた制作活動	①	(知) 墨と筆の性質や扱い方を理解し、絵を描くことができる。 (思) 資料を参考にしたり選んだ図案を、墨の濃淡や、線の太さ、鮮やかさなどを生かして、表現することができる。 (学) 独特の味わいや美しさを感じ取り、創造活動の喜びを味わう態度を養う	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部第1学年 重複B類型	保健体育	① 保健体育「めくってはっけん からだのふしぎ」(学研)			
目標	<p>(知) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(学) 各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「体づくり運動」(体育祭の取組、体の動きを高める運動) ・種目練習 ・入退場練習 ・全体練習 ・サーキットなど		<p>(知) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。</p> <p>(思) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、決まりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。</p>	学年 類型	9
	「水泳運動」 ・水慣れ ・水中ウォーキング ・アクアビクス ・パタ足など		<p>(知) 泳ぎや浮かぶことの楽しさや喜びに触れ、水中活動での体の動きや技能を理解することができる。</p> <p>(思) 泳ぎや浮かぶことについての自分の課題を見付け、支援を得ながら、解決のための活動を考えたり、工夫したことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学) 泳ぎや浮かぶことに進んで取り組み、決まりなどを守り、自分に合った用具を使い、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動する態度を養う。</p>	縦割り グループ 重複学年 類型	4
1 学期授業時数					13
2 学期	「水泳運動」 ・1学期と同内容	①	1学期と同目標	縦割り グループ 重複学年 類型	6
	「保健」(性の学習) ・男女の体の変化 ・友達との関わり方など		<p>(知) 男女の心の変化や、思春期の心の変化について理解することができる。</p> <p>(思) 思春期の心の変化について考えたり、表現したりすることができる。</p> <p>(学) 発育段階での心の変化について知り、互いを思いやろうとする気持ちや態度を養う。</p>		2
	「球技」(ニュースポーツ) ・ポッチャ ・ボウリング ・フライングディスク ・フリーベースボールなど		<p>(知) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、用具や支援を入れ、身体の動きを理解することができる。</p> <p>(思) 球技についての自分の課題を見付け、支援を得ながら、解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動する態度を養う。</p>		7
2 学期授業時数					15
3 学期	「陸上競技」 ・持久走 ・歩行運動 ・サーキットなど		<p>(知) 陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、用具や支援を入れ、身体の動きを理解することができる。</p> <p>(思) 陸上運動について自分の課題を見付け、支援を得ながら、解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学) 陸上運動に進んで取り組み、決まりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動する態度を養う。</p>	縦割り グループ 重複学年 類型	5
	「体づくり運動」(体ほぐしの運動、体の動きを高める運動) ・1学期と同内容		1学期と同目標	学年 類型	2
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書	
高等部 第1学年 重複B類型		特別活動		
目標	<p>(知) 仲間と協働して様々な活動に取り組み、集団での適切な行動の仕方を身に付ける。</p> <p>(思) 集団生活における課題を見出し、解決するために話し合ったり、意思決定をしたりすることができる。</p> <p>(学) 主体的に集団や社会に参画し、人間関係をより良く形成したり、自己実現を図ろうとしたりする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「学級活動(1)」 ・学級組織づくり ・係分担 ・1学期の目標決め ・学級活動の確認 ・学級活動の実施 ・校外学習	(知) 新しい仲間や1学期の取組内容について知り、学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について考えることができる。 (思) 学級活動や学校生活をスムーズに行うために、自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、よりよい活動にしようとすることができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	6
	「体育祭の取組」 ・プログラムの確認 ・練習の取組の確認	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	重複全体 学級	3
	「学部集会(1)」 ・新入生歓迎会への参加 ・生徒会について知る	(知) 集団の中で自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 活動の中で感じたことを教師や仲間に伝えようとするすることができる。 (学) 主体的に活動に参加し、人間関係をより良く形成しようとする態度を養う。	学部 学級	2
	「1学期の振り返りと夏休みの生活」 ・集会活動への参加 ・夏休みの過ごし方	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学年 重複学年 学級	2
1学期授業時数				13
2 学期	「学級活動(2)」 ・係分担 ・2学期の目標決め ・学級活動の確認 ・学級活動の実施 ・校外学習	(知) 2学期の取組内容について知り、学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について考えることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いて自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	6
	「文化祭の取組」 ・文化祭での活動の確認 ・文化祭までの日程や動きの確認	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学部 重複全体 学級	5
	「生徒会選挙の取組(1)」 ・立候補者演説を聞く ・投票の方法を確認する ・投票の日時や場所を確認する	(知) 生徒会選挙の投票の仕方と投票の日時について知ることができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞くことができる。 (学) 積極的に学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。	学部 学級	1
	「2学期の振り返りと冬休みの生活」 ・集会活動への参加 ・冬休みの過ごし方	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学級 重複学年 学年	3
2学期授業時数				15
3 学期	「学級活動(3)」 ・係分担 ・3学期の目標決め ・学級活動の確認 ・学級活動の実施 ・校外学習	(知) 3学期の取組内容について知り、学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について考えることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いて自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	3
	「生徒会選挙の取組(2)」 ・投票の方法と場所を確認する ・投票	(知) 学校生活の充実や向上のために、生徒の総意によって生徒会の組織作りを行うという生徒会選挙の目的と投票の仕方について理解することができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞きながら、自分から判断して投票を行うことができる。 (学) 集団の形成者として、積極的の学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。	学部 学級	1
	「学部集会(2)」 ・3年生を送る会の準備 ・3年生を送る会への参加	(知) 集団の中で自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学部 学級	2
	「1年間の振り返り」 ・集会活動への参加	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標について教師と一緒に振り返ることができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を確認し、課題解決に向けての取組について教師と一緒に考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学年 重複学年 学級	1
3学期授業時数				7
総授業時数				35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第1学年 重複B類型	自立活動			
目標	障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うとともに、心身の調和的発達のための基盤を培うことができる。			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	6区分27項目から個々の生徒に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。 「1 健康の保持」 (1)生活のリズムや生活習慣の形成に関する事。 (2)病気の状態の理解と生活管理に関する事。 (3)身体各部の状態の理解と養護に関する事。 (4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事。 (5)健康状態の維持・改善に関する事。 「2 心理的な安定」 (1)情緒の安定に関する事。 (2)状況の理解と変化への対応に関する事。 (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事。 「3 人間関係の形成」 (1)他者とのかかわりの基礎に関する事。 (2)他者の意図や感情の理解に関する事。 (3)自己の理解と行動の調整に関する事。 (4)集団への参加の基礎に関する事。	個別の指導計画に基づく	学級 個別	65
2 学期	「4 環境の把握」 (1)保有する感覚の活用に関する事。 (2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。 (3)感覚の補助及び代行手段の活用に関する事。 (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。 「5 身体の動き」 (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。 (2)姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用に関する事。 (3)日常生活に必要な基本動作に関する事。 (4)身体の移動能力に関する事。 (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。		学級 個別	75
3 学期	「6 コミュニケーション」 (1)コミュニケーションの基礎的能力に関する事。 (2)言語の受容と表出に関する事。 (3)言語の形成と活用に関する事。 (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。 (5)状況に応じたコミュニケーションに関する事。		学級 個別	35
総授業時数				175

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第1学年 重複B類型	総合的な探究の時間			
目標	<p>(知) 計画に基づいて行動し、仲間と協力して活動することの大切さを知る。</p> <p>(思) 自分をよく知り、仕事、生活について学び、自分の将来に関心を持ち、自分を表現する力を養う。</p> <p>(学) 自分の将来のことを考え、働くことや余暇活動に興味関心をもって行動することができる。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「年間計画」(進路学習) ・オリエンテーション ・1年間の進路学習計画について知る。	(知) 1年間の総合的な探究の時間についての大切さを理解する。 (思) 1年間の総合的な探究の時間について知り、そのために身に付けておくことを考える。 (学) 総合的な探究の時間についての必要性を感じ意欲関心を高める。	類型 学級	1
	「自分を知らう」(進路学習) ・自分の得意なことや頑張っていることを考える。	(知) 自分について得意なことや頑張っていることを他者から聞くことで自分について知ることができる。 (思) 自分の得意なことや頑張っていることについて考え、言葉や文章に表すことができる。 (学) 自分の得意なことや頑張っていることが仲間や学級に役に立っていることを実感し、主体的に係や当番の仕事をする意欲を養う。		2
	「職場見学」 ・校外学習 ・事前学習で見学場所について知る。 ・職場に行き、見学をする。 ・事後学習で振り返りを行う。	(知) 様々な仕事の種類や内容、働く上で求められる事柄について知ることができる。 (思) 見学をした感想を、「職場見学ノート」で表現することができる。 (学) 計画に基づいて安全に留意し、見学先の方との交流を通して社会参加や作業経験を行い、安全やマナーを意識して行動する態度を養う。	重複学年 類型	5
	「サークル活動」 ・希望する余暇活動を自分で選択する。	(知) 様々な種類の余暇があることを知ることができる。 (思) 自分でやってみたい余暇を選択することができる。 (学) 自分自身の余暇の過ごし方について考え、余暇活動に自分から取り組もうとすることができる。	類型 学級	5
1学期授業時数				13
2 学期	「平和について考えよう」 ・平和について知り、大切にする方法を考える。	(知) 平和や平和な社会について知ることができる。 (思) 平和を大切にする方法や平和を愛する気持ちを自分なりの方法で表現しようとする可以尝试。 (学) 生活の中で平和を大切にしようとする可以尝试。	類型 学級	2
	「学校周辺を知らう」 ・校外学習 ・事前学習 ・交通ルールや集団活動のマナー ・事後学習	(知) 学校の場所やその周辺の施設について気付いたり、交通ルールや集団活動のマナーを知ることができる。 (思) 交通ルールや集団活動のマナーについてロールプレイング等を通して実践することができる。 (学) 学校周辺の施設に興味関心を持ち、活動することができる。		3
	「仕事模擬体験」 ・事前学習 ・仕事模擬体験 ・事後学習	(知) 卒業後の生活について知り、仕事の体験をすることを意識することができる。 (思) 仕事内容に見通しをもち、教師と一緒に活動することができる。 (学) 仕事内容に興味関心を持ち、取り組むことができる。		4
	「国際理解学習」 ・他国の文化に触れる。 ・他国の音楽に触れる。	(知) 外国と日本の文化の違いについて、音楽や写真等を通して知ることができる。 (思) 言語や音楽などの異文化に触れ、楽しむことができる。 (学) 外国の文化について興味関心を持ち、言語や音楽を自分なりに表現することができる。	学年 学級	2
	「校内実習事前学習(1)」 ・グループ話し合わせ ・グループ活動 ・目標設定	(知) 校内実習の目的、日程、仕事内容(作業種目)、仕事場所を知ることができる。 (思) 校内実習の作業グループの目的を考えて伝え、自分の目標を決めることができる。 (学) 仕事内容の作業種目や役割を知り、校内実習の見通しをもつことができる。	重複学年 学級	4
2学期授業時数				15
3 学期	「校内実習事前学習(2)」 ・実習準備	(知) 自分の仕事や役割を理解して、仲間と協力して活動や準備を行う。 (思) 手順書を見たり、仲間や教師と相談したりしながら作業の知識や技能を知り、活用していくことができる。 (学) 校内実習の自分の仕事内容を理解して、安全に留意して自主的に取り組むことができる。	重複学年 学級	2
	「校内実習事後学習」 ・校内実習を振り返る。	(知) 校内実習で自分が頑張ったこと、難しかったことを振り返り仕事を通して得られた達成感を実感することができる。 (思) 「実習ノート」に自分の成果と課題を記入し、発表したり仲間の発表を聞いたりして、今後の学校生活での取組を考えることができる。 (学) 校内実習で学習したことが、職場体験実習につながることを知ることができる。		1
	「進路学習(余暇活動について)」 ・事前学習 ・交流体験	(知) どのような余暇活動があるのかを知ることができる。 (思) 余暇活動について見通しをもち、自分なりに活動に参加することができる。 (学) 教師や友達の様子にも注目しながら活動することができる。	3	
	「進路学習(1年間まとめ)」 ・1年間の進路学習について振り返る。	(知) 1年間の進路学習を通して、自分に合った仕事や、仕事をしながら生活することについて、体験して積み上げてきたことを振り返ることができる。 (思) 自分の得意なことや課題を考え、2年生での学習に活かすことができるよう考えることができる。 (学) 校内実習と職場体験実習の違いを知り、学校以外での地域の事業所で実習を行うことを知ることができる。	類型 学級	1
3学期授業時数				7
総授業時数				35